



さよなら

ぼくたちのほいくえん

おもいでいっぱいありがとう

3月22日、大浦保育園（佐々木真由美園長）の卒園式と閉園式が行われました。入園児の減少により、平成28年度での閉園が決定している同園。この日が最後の卒園式となりました。

ことしの卒園児は3人。いままで我が子の成長を見守ってきたお父さん、お母さんの感慨はひとしおです。園児らが保育園での思い出を話し始めると、涙が止まりません。しかし、そんな雰囲気を変えたのも、また園児たち。可愛らしいしぐさや表情、そして堂々とした姿に、出席者らは笑顔も見せました。

卒園式後に行われた閉園式では、佐々木園長から同園の沿革説明や園児たちによる踊りや歌が披露されました。

地域の人たちに愛され支えられてきた大浦保育園。その最後の日は、惜しまれつつも、感動と笑顔があふれる忘れられない1日となりました。



No.
1118

今号の主な内容

平成29年度施政方針の概要	2～7
平成29年度予算の中身	8・9
まちのわだい	10
図書館からのお知らせ	12

CONTENTS

4月1日号 2017

組織機構見直し住民サービス向上を

平成29年度

施政方針の概要

平成29年度の町政の進む方向を決める、第1回町議会定例会が2月13日から3月10日まで開かれ、29年度の一般会計予算などが原案のとおり可決されました。初日には佐藤信逸町長が、本年度の基本方針となる施政方針を述べました。今号では、施政方針の概要と29年度予算の中身を紹介します。

◇はじめに

私は、昨年7月、山田町長として2期目の町政を担わせていただくこととなりました。平成28年第3回定例会の所信表明の中で述べた私の公約については、現任期における町政運営の基本的な考え方となるものであります。

私の政治理念として掲げる「思いやりのある政治を実行し、「自立性」「将来性」「独創性」の3原則を意識しながら、穏やかな幸せのある山田町の未来に向けて、政策を進めてまいります。復興計画に位置付けた再生期の最終年度にあたる我が町のこの1年間は、次の発展期という

ステージへ向けて、町としてのさまざまな決断はもちろんのこと、生活の基盤となる住居、店舗、事業所等の本設移転においても、町民の皆様の大きな決断が必要になる、大変重要な年であります。

このことを踏まえ、復興関連業務を着実に進めながらも、刻々と変わる行政ニーズを的確にとらえ、そのニーズに対応しながら住民サービスの向上を図るために、町の組織機構の見直しを行います。企画財政課と復興推進課を再編し、財政課と復興企画課を新設、復興事業と未来のまちづくりにおける政策立案を復興企画課で行うとともに、

同課に被災者再建支援室を設置し、各種支援制度の受付、相談窓口を一本化いたします。また、少子高齢化時代に向けてより柔軟に対応していくため、現在の健康福祉課と国保介護課を再編し、健康子ども課、長寿福祉課を新設いたします。

限られた人員の中で最大の効果を発揮する組織体制を整え、議員各位、そして関係機関と町民の皆様が一体となった「チームやまだ」として、総合計画に示す町の目標「個性豊かにひとが輝き まちが潤う 山田町」の実現に向け、一歩一歩、取り組んでまいります。

◆復興事業について

東日本大震災の復旧・復興対策として、これまでに計17回、復興交付金事業計画書を国へ提出し、第16回申請分までの事業費ベースで約1千220億円が配分されました。

陸中山田駅前を中心市街地工



まちなか交流センター

リアでは、昨年7月に「ふれあいセンター」が、11月には「まちなか交流センター」と共同店舗棟が相次いでオープンし、その周辺では戸建店舗の建築が順次開始されるなど、生業の再生に向けた取り組みの姿が目に見えてまいりました。

山田中学校に隣接する公共防災エリアでは、昨年9月に県立山田病院が再建し、隣接する山田消防署と山田交番の建設用地についても、間もなく造成工事が完了し、引き渡しの段階に入ります。

宅地整備については、残る山田地区の高台住宅団地とかさ上げ地を、来春の完成を目指して

造成工事を進めるとともに、市街地の再編に伴う周辺道路や生活関連施設の整備など、復興まちづくりの完遂に向けて、さらなる事業の進捗を図ってまいります。

◆被災者の生活支援について

被災者の自立再建につまみしては、その再建方法にに応じて「被災者住宅再建支援事業」、「住宅自力再建者支援事業」、「生活再建住宅支援事業」などで支援してまいります。この生活再建の支援に係る相談窓口については、冒頭申し述べたとおり、新設した復興企画課に一本化し、その業務に当たってまいります。それぞれの環境で生活する仮設住宅入居者及び公営住宅入居者等を訪問し、心身の健康状態の把握に努めるとともに健康座談会を開催するなど、心と体の健康づくりを推進してまいります。

◆健康と福祉の充実について

「第2期健康やまだ21プラン」の重点目標である「脳卒中発症予防」、「健康寿命の延伸」、「肥満の予防と減少」を達成するために、「脳卒中予防事業」、「糖尿病予防事業」等を展開するとともに、住民健診において「推定塩分摂取量検査」を実施し、町

民の健康増進のため健康づくり事業を推進してまいります。

県立山田病院については、町民がさらに安心して医療サービスを受けられるよう、診療体制の充実と医師確保のため、招へい活動を継続するとともに、県医療局とも連携し取り組んでまいります。

国民健康保険事業については、構造的な問題に加え震災後の特殊事情により、引き続き厳しい財政状況にあります。また、30年度の国民健康保険広域化を控え、その改善が必要とされているところでもあります。このことを踏まえ、これまでの医療費適正化対策などの医療費抑制策を推進するとともに、財政基盤の安定化のためにも、被保険者の皆様にご負担の増額をお願いいたしたく、本定例会において保険税率改定に係る条例改正案をご審議いただくこととしております。

乳幼児児童生徒、妊産婦、重度心身障がい者、ひとり親家庭などに対する各医療費助成事業は、継続して実施してまいります。

高齢者が、地域で安心して暮らせるよう、互いに支え合う地域づくりを推進し、「介護予防・日常生活支援総合事業」「医療と介護の連携推進」「認知症高齢者

への支援強化」「生活支援体制整備」により、日常支援が包括的に提供される「地域包括ケアシステムの構築」に向けて継続的に取り組んでまいります。

◆結婚・子育て支援について

新婚夫婦の住まいへの支援に対し「結婚新生活サポート事業」の創設、不妊治療にかかる「特定不妊治療費助成事業」の継続など、結婚・妊娠・出産・子育てをする世代が、この町で安心して希望を持って生活ができるよう支援してまいります。

新年度から「子育て世代包括支援センター」を立ち上げ、妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を実施し、育児の不安解消や孤立化の防止、児童虐待の予防等を図ってまいります。



子育て世代包括支援センターが設置される保健センター

◆住民主体のまちづくりについて

自治会等が創意と工夫により行う地域活動を支援するため「住民協働推進支援事業」を実施し、その活動について今後も補助してまいります。

災害公営住宅等における新たなコミュニティづくりについては、そのきつかけづくりに取り組み、住民が主体となった活動につながるよう支援してまいります。

◆交通網について

三陸沿岸道路については、災害時に強い道路の整備を目的として、かつてないスピードで事業が進められており、これまで全区間の約9割の区間で開通見



工事が進む細浦・柳沢線

通しが公表されております。「山田宮古道路」においては各トンネル工事が終了し、今後は舗装や防護柵等の仕上げ工事が行われ、29年度には山田インター、宮古南インター間が開通する見込みとなっております。

県道の整備に関しても、主要地方道重茂半島線は、重茂半島を周回する唯一の生活道路であり、大沢・浜川目工区を本町の整備区域として工事が行われております。27年度から掘削工事が始まった（仮称）大沢トンネルは、1月に貫通し、整備が着々と進められております。また、一般県道宮古山田線は、三陸沿岸道路の（仮称）山田北インターへのアクセス道路として、橋りょう工事や道路改良整備が進められております。

町道の整備については、細浦・柳沢線のトンネル掘削工事に本格着手してまいります。また、織笠、草木地区を結ぶ道路整備や豊間根小学校に隣接する豊間根・関口線の歩道整備については、29年度の完成を目指して進めてまいります。

各地域から要望の多い町道の維持補修については、その緊急性、必要性などを考慮しながら、安全な道路施設の管理に努めてまいります。

ます。街路灯については、防犯上の観点からも夜間の道路環境に配慮し、必要な箇所に設置してまいります。橋りょう補修については、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、豊間根の長内橋の補修工事に着手いたします。

三陸鉄道に移管されるJR山田線については、県、関係自治体と連携し、JR東日本からの移管協力金の有効活用を図りながら、将来の設備投資や営業経費を踏まえた自治体負担の在り方、通学及び通院利用者への運賃激変緩和措置や、利用促進といった具体的な取り組みなど、持続可能な運営を実現するため、引き続き協議を重ねてまいります。

また、陸中山田駅舎の再建については、鉄道利用者数を想定しながら、コンパクトな中にも利便性に配慮するとともに、山田町の玄関口としての機能を併せ持った駅となるよう検討を進めてまいります。

路線バスについては、復興事業の進捗に伴い、今後さらに市街地の再編と仮設住宅の集約化が進むことから、岩手県北バスなど関係機関と協力しながら、利用状況を把握し、必要に応じて運行経路の見直しを図るなど、利便性と効率性を考慮した、適切な路線運行の確保に努めてま

います。

◆住環境の整備について

高台住宅団地やかさ上げ地は、28年度で大沢地区、織笠地区、船越・田の浜・大浦地区の整備が完了となり、土地の引き渡しを進めております。山田地区については、第1団地、第3団地及びかさ上げ地の造成工事を進め、29年度の完成を目指してまいります。

住宅再建については、より多くの方に自力再建をしていただくよう、町内業者で組織した山田型復興住宅協議会が提案する「山田型復興住宅」について、協議会と協力しながら周知に努めてまいります。



整備が完了した高台住宅団地（船越地区）

災害公営住宅については、将来の住宅事情等も見据え、その希望戸数を把握し整備戸数の調整を図りながら、円滑な入居が行われるよう進めてまいります。29年度においては長崎第2団地、船越第1団地、田の浜団地が完成いたします。また、飯岡団地は30年度の完成を目指してまいります。

応急仮設住宅については、「応急仮設住宅集約化計画」に基づき、既に入居者への説明を行った29年度撤去予定の6団地についての円滑な移転の支援に努めるとともに、30年度撤去予定の7団地についても順次説明と住宅再建意向の確認により調整を行ってまいります。

◆上下水道について

水道事業については、安全で安心できる良質な水道水の安定供給、効率的な経営及び施設の維持管理に努めてまいります。豊間根地区の水源地には、紫外線滅菌処理施設を29年度で整備いたします。被災した水道施設については、山田地区の土地区画整理事業区域内の配水管布設など、復興事業に沿った施設整備を進めてまいります。

下水道事業については、供用している処理区内は、引き続き適切な維持管理と効率的な経営

に努めてまいります。現在整備中の山田処理区内は、管渠整備を実施して処理区域の拡大を図ってまいります。また、新たな制度として、水洗化の普及促進を図るために、供用から3年以内の下水道接続工事に対し補助を行ってまいります。下水道事業計画処理区域外では浄化槽の設置補助を行い、普及促進に取り組んでまいります。

◆新斎場の建設について

新斎場の建設については、30年4月の供用開始を目指し、造成工事、建築工事を進めてまいります。利便性や周辺環境との調和を図り、厳粛な中にも安らぎを感じられる施設となるよう整備に努めてまいります。

◆水産業の振興について

主要養殖物であるカキ、ホタテについては、漁協と連携して付加価値の向上に努めるとともに、殻付きカキについては物産展など各種イベントを通じて、ブランドの再生に取り組んでまいります。

また、磯根資源の回復と漁業所得の向上を図るため、漁協が行うアワビ、ナマコの種苗放流事業に対する全額補助を継続し



パイヤーと商談し販路開拓を

続き「水産業共同利用施設復興整備事業」により、施設整備や設備導入に対する助成を行うほか、食品関連パイヤー等との商談・交流の機会を提供し、販路開拓を支援してまいります。

◆農林業の振興について

農業については、町の「農業経営基盤強化に関する基本構想」で示す、10年後の農業経営の目指すべき目標に近づけるため、関係機関とともに、農家の所得向上につながるよう農地中間管理事業等に取り組んでまいります。

また、多面的直接支払制度により農地を保全するとともに、農業委員会、農地中間管理機構と一体となり、農地の集積、遊休農地の解消を推進してまいります。

「農村地域復興再生基盤総合整備事業」により進めている山田北地区荒川工区については、29年度の事業認可及び工事着手をめざすとともに、豊間根工区については、面工事が全域で完了することから、関係機関と連携して営農を支援してまいります。

なお、被災農地については、被災地区の全工区で面工事が完

てまいります。

漁家経営の安定を図るため、制度資金に対する利子補給や漁業共済掛金に対する助成を継続するとともに、「漁具等倉庫復旧整備支援事業」により漁業者の生業再生を支援してまいります。漁業担い手の確保・育成については、引き続き「豊かな浜の担い手育成支援事業」により、漁業後継者や新規就業者に対し助成を行うほか、昨年3月に設立された漁業就業者育成協議会の活動を通して、漁業体験の実施や新規就業者の受入体制の整備を進めてまいります。

町営小谷島漁港の災害復旧事業については、昨年の台風10号により被災した箇所も含めて、29年度内の完成を目指してまいります。

水産加工業については、引き

了したことから本格的な営農再開がなされており、今後、農地利用の集積を進めてまいります。林業については、山田町森林整備計画に基づき、持続可能な民有林の森林整備を進めてまいります。また、町有林は、森林資源を最大限に有効利用するため、計画的かつ効率的な、主伐、間伐及び造林に取り組むとともに、分収林契約等の森林については、相手方と協議の上、伐採を進めてまいります。

◆商工業の振興について

商業については、山田町商工会や共同店舗棟建設運営会社、各事業者グループなど関係団体と協働して、共同店舗棟と交流施設がオープンした中心市街地エリアを核とした商業地の形成、にぎわいの創出に向けた取り組みを進めてまいります。また、中心市街地に設定した復興特区制度により、産業集積区域内に立地する事業者の税制上の特例措置が受けられるメリットを生かしながら、町中心部の活性化を図ってまいります。

被災事業者の本設については、山田地区のかさ上げ地等の引き渡しも始まることから、速やかに再建ができるよう山田町商工会とも協力して、グループ補助や中小企業被災資産復旧事業費

補助、岩手県東日本大震災復興資金と、その利子補給等、各種制度の活用を促し、営業の再開を支援してまいります。

ふるさと応援寄付の返礼品として贈る「ふるさと特産品」は、新たな本町のファンの獲得と特産品需要の拡大につながるよう、引き続き取り組んでまいります。

◆観光の振興について

観光振興については、複合型産業として町内各産業が活性化するようにメニューを創出し、官民・業種を問わず、連携・協働しながら町の観光資源を磨き上げていく必要があります。

昨年7月に設立した山田町体験観光推進協議会を中心として、町民が活躍できる体制を構築するとともに、本町の自然資源や文化、人の魅力を生かした体験観光プログラムの充実を図り、山田町らしい観光を町内外に発信してまいります。

浦の浜海水浴場は、29年度から砂浜とトイレ・シャワー棟の供用を開始する予定であることから、シーカヤックなどマリンレジャーの普及と併せて利用促進を図ってまいります。荒神海水浴場については、環境省による休憩所などの施設復旧が完了したことから、さらに快適な利用環境の提供に努めてまいります。



再開が望まれる浦の浜海水浴場

す。

観光協会が行う誘客のための取り組みについて、引き続き運営体制の強化を支援するとともに、同協会が運営を担う「かき小屋」や観光物産館「とつと」についても、PRに努めながら利用促進を図ってまいります。

◆消防・防災対策について

昨年の台風10号は、観測史上初となる東北太平洋側からの上陸で、県内において甚大な被害が発生したほか、近年、全国各地においても大規模災害が発生しております。このような状況に対応するため、町民の皆様さらなる防災意識の高揚を図っていく必要があります。総合防災訓練などを通じ、日ごろから防災、減災意識の共有を図り、町民一人ひとりが自らの生命は自らで守る自助意識を醸成し、避難支援に必要な共助、公助の体制を構築してまいります。

また、大規模災害発生時に備

え、当面の被災者生活を支えるため、備蓄倉庫のほか必要な物資について整備してまいります。織笠漁港海岸防潮堤の復旧は、全体計画のうち北側工区が完了し、残りの南側工区については30年度の完成をめざしております。また、県管理の漁港海岸防潮堤や浦の浜地区、小谷島地区の農地海岸堤防については、早期完成に向け県と連携を図ってまいります。

田の浜地区津波防災緑地は、津波浸水の被害を最小限にとどめる役割を果たす二線堤として整備を進めてまいります。

防災行政無線については、デジタル改修を完了させるとともに、新たに整備された復興住宅団地に屋外拡声子局の新設を行いました。引き続き、新たに整備される復興住宅団地等に、順次、屋外拡声子局の設置を進め、情報伝達の迅速化に努めてまいります。

雨水排水対策として整備を進めている豊間根地区の排水路整備は、堂ヶ鼻地区の工事に着手してまいります。

◆学校教育について

町の復興、そして、将来を担う子どもたちに対して、一人一人の基礎学力を保障し、「わかつ

た」を実感できる授業を展開すること、学習指導要領の理念がめざす「生きる力」を具現化した資質・能力の育成を図ってまいります。

また、新たな取り組みとして、町の奨学金制度を見直し、完全給付型への制度改正を決断いたしました。山田町育英会並びに田代英雄奨学金基金について、復興計画の最終年度にあたる32年度までの期間限定で返還不要の給付型とし、意欲と能力のある子どもたちの大学等への進学を強力にサポートし、復興と未来を託す若者の人材育成を進めてまいります。

学校給食センターについては、32年までの完成を目指しており、29年度においては設計業務委託等を実施してまいります。

学校におけるいじめ問題については、「山田町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止の対策を総合的かつ効果的に推進してまいります。

学校の統廃合については、子どもを取り巻く環境の変化に鑑み、保護者や地域住民と今後の教育の在り方について、意見交換する機会を持ち、慎重に検討してまいります。

◆生涯教育について

将来の町を担う子どもたちに、

海・山・川などの自然の恵みやふるさと山田の歴史・郷土芸能などを紹介するリーフレットを作成し、山田の魅力を伝えてまいります。

老朽化が進んでいる各地区の集会施設については、継続して適正な維持管理に努めていくとともに、高齢者や障がい者に優しい施設となるよう「コミュニティセンター等集会施設トイレ改修事業」を実施してまいります。

「山田町ふれあいセンター」は、町民の誰もが気軽に利用でき、教養と知識の習得の場、交流や憩いの場として昨年7月に開所しました。今後も、図書の企画展や各種イベント、講座等を開催するなど、魅力あふれる施設となるよう努めてまいります。

町民総合運動公園ラグビー・サッカー場については、「人工芝改修事業」を実施してまいります。



誰もが利用できるふれあいセンター

◆当初予算編成について

29年度一般会計当初予算案については、本議会でご審議をいただくこととなりますが、新年度もこれまでに引き続き復旧・復興事業の推進に向け、359億円を超える巨額の予算編成となっております。

本町は、これまでのところ財政の健全性は保たれていると認識しておりますが、今後も、将来に向けて過重な負担を残すことのない健全な財政運営に配慮しつつ、着実な復興の進展と総合計画に基づく事業の展開に、全力で取り組んでまいります。

◆ ◆ ◆
以上、29年度における主要な施策について申し述べてまいりました。

26年度から29年度までは、山田町復興計画の中で再生期として位置付けており、新たな年度は来る発展期に向けての大きな節目となる1年となります。

私が常に職員に言っていることのひとつに「我々が今取り組んでいる仕事は、多くの難題は常に降りかかってくるが、未来永劫に続くまちづくりという大きな任務をさせていただいていると思えば、日々の苦勞も喜びに変わる」ということであります。また、多くの英知を集めて作

成した山田町総合計画についても、発展期を見据えたものとしてしっかりと進めなくてはなりません。

震災の中、子育て世帯においては自宅再建など多くの出費が考えられます。地方の再生には最終的には教育が大きな比重を占めることになります。国家100年の計は教育にありといっても過言ではありません。そこで当町では新たに完全給付型の奨学金を始めます。将来、町の奨学金で育った子どもたちが次のこの町を担うことを期待したいと思います。

我がふるさととは幾多の困難を乗り越えてきた先人から受け継いだものであると同時に、将来を担う子供たちからの大いなる責務を負っているともいえます。このことにしっかりとこたえることが今、我々に課せられているのです。

再生期の最終年度である本年を、職員一人ひとりの力を結集して、「チームやまだ」として復興に邁進したいと考えております。

町民並びに議会の皆様方におかれましては、一日も早い復興に向けて広い観点からのご判断のもと、ご協力を心よりお願い申し上げます。施政方針とさせていただきます。

平成29年度予算の中身

水産商工課

◆海岸保全施設災害復旧事業	15億4,980万円
◆漁業集落防災機能強化費 ▷大沢地区漁業集落防災機能強化事業、大浦地区漁業集落防災機能強化事業など	1億4,597万円
◆水産業共同利用施設復興整備事業	17億8,000万円
◆漁港施設災害復旧事業	6億6,450万円
◆県営漁港整備事業	5,660万円
◆中小企業被災資産復旧補助事業	6,000万円
◆漁港施設用地整備事業（織笠漁港）	6,081万円
◆中小商工業災害復旧融資利子補給事業	2,824万円
◆つくり育てる漁業の再生事業	1,500万円
◆ふるさと特産品事業	4,325万円
◆イベント開催事業	500万円
◆商工会支援事業	500万円
◆観光協会支援事業	400万円
◆新しい観光創出事業	1,500万円

町民課

◆塵芥し尿処理（宮古地区広域行政組合負担金）	2億4,895万円
◆新斎場建設整備事業	6億2,689万円
◆被災地区街区番号整備事業（山田地区）	4,392万円
◆国民健康保険事業 国民健康保険は病気やけがに備えて加入者の皆さんがお金を出し合い、病院にかかるときの医療費に充てる 支え合いの制度です。	30億4,953万円
◆後期高齢者医療事業 後期高齢者医療制度は75歳以上（重度障害者は65歳以上）の高齢者が、病気になっても安心して医療を受けられる制度です。	1億6,087万円

長寿福祉課

◆介護保険事業 歳出総額の94.6%を占める保険給付費は17億,7295万円で、訪問介護や通所介護、施設介護など各種サービス費用に充てられます。	18億7,492万円
◆地域生活支援事業	2,106万円
◆高齢者地区組織支えあい事業	300万円

上下水道課

◆公共下水道事業 快適な生活環境と海や河川の水質保全を目的に、山田地区で公共下水道施設整備事業を実施しています。	11億2,865万円
◆山田地区都市再生区画整理排水施設整備事業	4億7,209万円
◆浄化槽設置整備事業	1,373万円
◆山田地区復興拠点配水施設整備事業	2,307万円
◆低炭素社会対応型浄化槽集中導入事業	307万円

健康子ども課

◆子育て世代包括支援事業	456万円
◆結婚新生活サポート事業	367万円
◆保育園費	7,511万円
◆保健センター改修事業	512万円
◆放課後児童健全育成事業	4,384万円
◆予防費 ▷予防接種委託料など	3,845万円
◆被災診療所等支援事業	1,000万円
◆民間保育所特別保育サポート事業	2,446万円
◆母子保健費 ▷妊婦健診委託料、特定不妊治療費補助金など	2,267万円
◆地域子育て支援拠点事業	780万円
◆医師確保対策事業	210万円

建設課

◆防災集団移転促進事業（山田、織笠、船越・田の浜、小谷島地区）	32億2,944万円
◆山田地区津波復興拠点整備事業	22億8,102万円
◆山田国道45号周辺地区震災復興土地区画整理事業	1億8,500万円
◆田の浜地区津波防災緑地整備事業	2億400万円
◆山田地区復興事業関連鉄道施設整備	1億4,668万円
◆柳沢北浜地区土地区画整理事業	2億2,173万円
◆豊間根地区排水路整備事業	8,250万円
◆町道舗装改修事業	1,500万円

建築住宅課

◆災害復興公営住宅整備事業	13億5,741万円
◆危険住宅移転事業	1億2,846万円
◆仮設住宅支援事業	1億445万円
◆山田型復興住宅普及推進事業	398万円

消防防災課

◆常勤消防費（宮古地区広域行政組合負担金）	3億5,537万円
◆小型動力ポンプ車整備事業	247万円

教育委員会

◆小学校費	1億2,090万円
◆中学校費	6,100万円
◆ラグビー・サッカー場人工芝改修事業	1億1,000万円
◆学校給食センター建設事業	1,688万円
◆埋蔵文化財発掘調査事業	2,000万円
◆幼稚園費	1,828万円
◆町立図書館仮設巡回支援事業	367万円
◆ジュニア海外使節団派遣事業	600万円

一般会計

平成29年度の町一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ359億5,198万円。前年度当初予算と比べて61億2,781万円、14.6%の減と前年度を下回りましたが、6年連続で数百億円規模の大型予算となっています。

町では復旧・復興を最優先に、「山田町総合計画」の実現や町政に求められる課題解決を図りながら、各種事業に取り組んでまいります。

なお、四捨五入により合計が合わないことがあります。

■歳入の状況

(単位：万円、%)

歳入				
区 分		予算額	構成比	伸び率
自主財源	町 税	110,592	3.1	5.6
	分担金・負担金	6,831	0.2	△5.7
	使用料・手数料	6,404	0.2	10.6
	財産収入	64,148	1.8	△27.3
	寄 附 金	8,000	0.2	0.0
	繰 入 金	1,971,656	54.8	△16.1
	繰 越 金	10	0.0	0.0
	諸 収 入	17,642	0.5	△75.5
	計	2,185,283	60.8	△17.1
依存財源	地方譲与税	5,410	0.2	△6.6
	地方交付税	774,115	21.5	3.9
	国庫支出金	339,822	9.5	△30.5
	県支出金	115,658	3.2	△13.2
	町 債	147,110	4.1	△12.6
	その他	27,800	0.7	△9.4
	計	1,409,915	39.2	△10.3
合 計		3,595,198	100.0	△14.6

■歳出の状況

(単位：万円、%)

歳出				
区 分		予算額	構成比	伸び率
議 会 費		9,151	0.3	1.2
総 務 費		220,217	6.1	△4.7
民 生 費		245,496	6.8	△0.8
衛 生 費		121,403	3.4	34.7
労 働 費		102	0.0	0.0
農 林 水 産 業 費		236,896	6.6	△15.0
商 工 費		32,779	0.9	21.8
土 木 費		2,302,469	64.0	△17.7
消 防 費		39,939	1.1	0.1
教 育 費		74,860	2.1	15.5
災 害 復 旧 費		232,692	6.5	△30.8
公 債 費		77,696	2.2	△6.6
予 備 費 ・ そ の 他		1,500	0.0	0.0
合 計		3,595,198	100.0	△14.6

町の全会計

町の平成29年度一般会計予算と各特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額は427億3,587万円です。

ここでは、本年度行われる主な事業を担当課ごとに紹介します。

◆平成29年度各会計の予算額

- 一般会計……………359億5,198万円
 - 国民健康保険特別会計……………30億4,953万円
 - 後期高齢者医療特別会計……………1億6,087万円
 - 介護保険特別会計(事業勘定)……………18億7,492万円
 - 介護保険特別会計(サービス事業勘定)……………250万円
 - 漁業集落排水処理事業特別会計……………1億4,131万円
 - 公共下水道事業特別会計……………4億2,611万円
 - 水道事業会計……………11億2,865万円
- ※水道事業会計には、収益的支出予算と資本的支出予算の合計額を掲載しています。

総 務 課

- ◆長期派遣職員受入れ事業……………3億968万円
- ◆電算管理費……………6,442万円
- ▷オープンシステムリース料など
- ◆復興人材プラットフォーム事業……………2,000万円
- ◆防災行政無線設備整備事業……………1,683万円

財 政 課

- ◆財政管理費……………1,064万円
- ◆財産管理費……………5,703万円

復 興 企 画 課

- ◆復興事業計画推進支援事業……………2,000万円
- ◆被災者支援住宅用太陽光発電導入費補助事業……………600万円
- ◆コミュニティ形成支援事業……………350万円
- ◆被災者住宅再建支援事業……………7億7,100万円
- ◆災害援護資金貸付等震災対応事業……………1億3,152万円

税 務 課

- ◆土地評価更新業務委託料……………435万円
- ◆住民税等申告支援システムリース料……………193万円

農 林 課

- ◆国土調査事業……………4,018万円
- ◆農用地災害復旧関連区画整理事業……………205万円
- ◆農村地域復興再生基盤総合整備事業……………2,700万円
- ◆多面的機能支払交付金事業……………1,146万円
- ◆堆肥センター機会設備改修事業……………3,032万円
- ◆特用林産施設体制整備復興事業……………468万円



町のわだい

今月の題字 花崎 暁平くん（荒川小1年）

長寿の秘訣はなんでも食べること 田の浜の菊地さん100歳に

田の浜の菊地トキミさん（大正6年生まれ）が、3月16日に満100歳の誕生日を迎え、平安荘で佐藤町長が長寿祝い金を手渡しました。当日は、平安荘の職員、入居者の皆さんが祝福。『100』の形をしたろうそくが飾られたケーキも用意され、菊地さんが火を吹き消すと歓声が上がっていました。

長寿の秘訣は好き嫌い無くなんでも食べることだそうです。100歳を迎えた感想を伺うと「昔から風邪をひかず元気でしたが、ここまで長生きすることができて驚いています」と笑顔を見せてくれました。



写真：大沢小学校提供

大沢小新聞委員会がまたまた快挙 内閣総理大臣賞を受賞

大沢小学校（及川輝美校長）の新聞委員会が発行する学校新聞「海よ光れ」が、第66回全国小・中学校・PTA新聞コンクールの小学校学校新聞の部で、最高賞である内閣総理大臣賞を受賞しました。同賞の受賞は今回で4回目。昨年の受賞に続き、2年連続受賞という快挙を成し遂げました。4年生から6年生までの8人で発行している同新聞は、読みやすい紙面に加え、児童アンケートや住民インタビュー、特集記事などの企画が盛りだくさん。

同新聞は、大沢地区の住民にも回覧されており、地域に元気を与える嬉しいニュースとなりました。

豊間根中が町へからくり時計寄贈 保健センターのシンボルに

3月1日、豊間根中学校（熊谷広克校長）から町に、からくり時計が寄贈されました。これは同校が昨年夏に行った資源回収の益金で購入したものです。贈呈式には生徒会前会長の佐々木宏洋さんと現会長の川村謙心さんが出席。真新しいからくり時計が披露されると、素敵な音楽とともに、可愛らしい仕掛けが動きだしました。贈呈を受けた佐藤町長は「毎年のことで本当にありがたい」と謝辞を伝えました。

寄贈された時計は、新設された健康子ども課の窓口がある、保健センターの玄関ホールに飾られています。



みんなの スペース

◆あて先・問い合わせ 山田町役場総務課情報係（電話 028-1392（住所不要） 82-3111内線417）へ。

「桜教室」

海から生れた早池峰を
遠くで見守る十二神

霞露よ映せよ夏が丘

五弁の桜先に立て

後に続くは荅花

学びし事は忘れても

忘れちゃならない此の集い

カンナの花の香を残す

胡蝶を惑わす桜花

散らばや共にと寄りかかる

霞むな夢みる春の風

古城の名残が桜木は

桜教室今日限り

流れる涙はそのままで

達者でくらすと高笑い

明治 昭和と平成と

津波に勝ちたるこのからだ

泪はみせねど煮え返る

開いて見せたい腹のそこ

湯沢 福治（大沢・89）

「春の陽ざし」

でっかい太陽：

春の陽ざし。

梅の花、咲いて、

チュウリップが、色取り、

それぞれきれいに

美しく咲き

春のおひさまの陽ざし

ニッコリと：

佐藤 啓子（船越・？）



「イラスト」



P. N.
MOGU（長崎）

「おしらせ」

エアロビクス教室

エアロビクスで汗を流し、リフレッシュしませんか。参加を希望する人は、当日会場へお越しください。

▼開催日 4月3日、10日

▼時間 午前10時半～11時半

▼場所 保健センター

▼対象者 どなたでも参加可

▼参加料 500円

▼持ち物 バスタオル（ヨガマット）、汗拭きタオル、飲み物

◆問い合わせ りふれつしゅく

ラブ（田中 ☎ 090-1559

515474）へどうぞ。

ヒップホップダンスレッスン

ヒップホップダンスレッスンへの参加者を募集します。初心者向けの基礎的な内容を中心に、行いますので、運動不足の人や

ダイエットしたい人はお越しください。参加希望者は当日会場へお越しください。

▼日時 4月15日

▼午後6時半～20時

▼場所 まちなか交流センター

▼内容 ダンスの基礎、体幹ト

レーニング、ストレッチなど

▼参加料 無料

▼持ち物 タオル、飲み物

◆問い合わせ やまだなかよし

だんすくらぶ（糠盛 ☎ 080

1184317414）へ。

フルート演奏会

韓国人フルート奏者のソル・ナムさんによるフルート演奏会を行います。来場無料です。

▼開催日 4月26日

▼時間 午前10時半～11時半

▼場所 いっぱい山田

◆問い合わせ いっぱい山田（☎ 7714343）へ。

やまだ文芸広場

この国に 何ら尽くせし 覚えなく

行方不明者を いまも恋ひ待つ この町に

哀しとどろき やまぬ潮騒

内館 洋一（飯岡・74）

川の水 潤れて田植えが 心配だ

いの一番 マンサク咲いて 春の音

佐藤 兼男（荒川・90）

うぐいすや 初音はほんに 覚えず

東風吹かば 梅の香乗せて 流れ来し

沼崎 悦子（船越・75）

町長室から

東日本大震災大津波6周年追悼式が行われました。会場は静寂に包まれ、深い悲しみが漂う中、自衛隊音楽隊による「慰霊の曲」の献奏とともに献花が行われました。曲は、6年前のあの惨状を記憶の中に呼び起こします。花を手向ける参列者の後ろ姿からは、今もなお癒えることのない悲しみが見て取れます。

幸せな家族を一瞬にして切り裂く自然災害。このような惨劇が過去に幾度となく繰り返されてきました。津波を仕方のないものとした先人たちの思いは、今回限りで終わりにしたい。復興交付金は現在、1300億円が交付されました。町税の約100年分に相当するそのお金でまちづくりを進めています。

私たちが目指す「二度と津波で命を落とさないまちづくり」に向けてしっかりと取り組むことを、改めてお誓いした式典でもありました。

山田町長 佐藤 信逸

今月の新刊図書

■一般図書

- ・「幸せは自分の中にある」 ベニシア・スタンリー・スミス著
- ・「親の介護で自滅しない選択」 太田差恵子著
- ・「小屋を作る本 2017-2018」 学研プラス刊
- ・「おさよさんの無理なくつづく家事ぐせ」 おさよさん著
- ・「いちばんやさしい！組むも」 多田牧子著
- ・「あなたのために 続」 辰巳芳子著
- ・「『パパは大変』が『面白い！』に変わる本」 安藤哲也著
- ・「ITと熟練農家の技で稼ぐA！農業」 神成淳司著
- ・「ハムレット、東北に立つ」 下館和巳著
- ・「不可能を可能にする大谷翔平120の思考」 大谷翔平著
- ・「騎士団長殺し 1・2」 村上春樹著
- ・「本を守ろうとする猫の話」 夏川草介著
- ・「終りなき夜に生れつく」 恩田陸著
- ・「幸田家のことば」 青木奈緒著

■児童書

- ・「これは、わにです。」 ヒース・マッケンジー 絵
- ・「おしゃかさま」 たかすかずみ 絵
- ・「どこじゃ？かぶきねこさがし」 吉田愛絵
- ・「デュエル・マスターズ超全集革命ファイナル」 小学館刊
- ・「水の森の秘密」 岡田淳著

図書館からのお知らせ

◆問い合わせ 町立図書館 (☎82-3420) へどうぞ。

各種イベント情報

哲学対話

『あーでもねえこーでもねえ』開催

立教大学の河野哲也教授をお迎えし、山田町とジオパークをテーマに哲学します。山田湾で行われている養殖の現場を見学し、そこで感じたことについて語り合いませんか。

▶日時 4月29日(土) 午前9時半～午後4時

▶場所 町ふれあいセンター

▶対象 小学4年生～中学生

※高校生以上の人も参加できますが、募集は若干名とします。

▶募集人数 20人

▶持ち物 お弁当

▶申込期限 4月26日

◆申込先 町立図書館 (82-3420) へどうぞ。

巡回展

『啄木資料展』へご来場を

岩手県立図書館で、平成26年8月～28年7月までに新規収集した啄木関連資料など、合計55点の巡回展示を行います。

▶開催期間 4月1日(土)～9日(日)

▶時間 午前9時～午後7時

※最終日は午後4時まで

▶場所 町ふれあいセンター

図書館カレンダー と 移動図書館運行予定表

4

2017. Apr.

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5

2017. May.

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■は休館日。4月から、祝日は開館日となり、閉館時間は午後5時となっています。

○が移動図書館の運行日。運行場所は上記をご確認ください。

【4月】

運行時間 (滞在時間55分)	運行日・場所 (仮設住宅)		
	6日、20日	7日、21日	12日、26日
午前9時半～	浜川目	エフビー向い	大浦小第1
午前10時50分～	浦の浜	山谷	町民グラウンド
午後1時20分～	関谷担い手	多目的広場	処理場予定地
午後2時45分～	関口担い手	猿神担い手	旧不動産生コン第1

【5月】

運行時間 (滞在時間55分)	運行日・場所 (仮設住宅)		
	4日、18日	5日、19日	10日、24日
午前9時半～	浜川目	エフビー向い	大浦小第1
午前10時50分～	浦の浜	山谷	町民グラウンド
午後1時20分～	関谷担い手	多目的広場	処理場予定地
午後2時45分～	関口担い手	猿神担い手	旧不動産生コン第1



山崎 昂太さん（大浦・19）

憧れた、あの救命士のように

昨年4月に宮古広域消防職員として採用された山崎さん。消防学校での訓練を終え、10月から山田消防署に勤務しています。山崎さんが消防職員を目指した理由は、小学生の時に兄さんが倒れ、その時に対応してくれた救急隊員の、優しく頼もしい対応に憧れたから。現在は警防係に所属し、車両点検や避難訓練の際の指導などを行っています。

「一つのミスが命に関わる仕事であるため、些細なミスも気を付けています」と日頃から意識して職務に取り組む山崎さん。職場は、家族のように接してくれる温かい場所とのこと。厳しい指導こそありがたいと言いつつ山崎さんは「必要な時に力を発揮できるように、知識と経験を先輩職員から学びたいです」と意欲にあふれています。将来の目標は、憧れた救急救命士になること。宮古管内では1年間に2人程度しか資格取得のための試験を受けられないとのこと。待ち受けるのは狭き門

ですが、これから立ち向かって行くぞという強い意志を感じました。小さなころからの夢を叶え、さらなる目標へ進む山崎さん。「町民に安心感を与えられる消防士」を目指し、今日もまた訓練の日々を送ります。

キッチンスタジオ ハーモニー

No.98

このコーナーでは、町栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが手軽に作れるお弁当や郷土料理、旬の食材を使った料理などをご紹介します。今回は、野菜のうまみでさらにジューシー♪「春キャベツと手羽元の煮物」です。

【材料（2人分）】

春キャベツ… 1/4 玉 手羽元… 6 本 サラダ油… 大さじ 1 強 練りからし… お好みで
A {水… 300ml 酒… 100ml みりん… おおさじ 2 しょうゆ… 大さじ 2}

【作り方】

- ①キャベツは芯を付けたまま、大きめのくし型に切る。手羽元はきれいに洗って、水分をよくふき取っておく。
- ②熱したフライパンに油を引き、手羽元の表面にこんがり焼き色をつける。余分な油をふき取ったあと、Aの材料を加えて落とし蓋をし、ひと煮立ちさせる
- ③弱火にしてあくを取りながらしばらく煮る。
- ④手羽元に味がなじんだら、キャベツを加えてさらに煮る。
- ⑤キャベツに火が通れば器に盛り付けて、お好みで練りからしを添えれば出来上がり。

【ポイント】

キャベツは大胆に大きくカットしてください。春の甘いキャベツの味を楽しめる一品です。

春キャベツと手羽元の煮物



1人あたりのカロリー 300Kcal、塩分1.2g

鳥の手羽元は、人間でいえば二の腕の部分。肉厚でジューシーですが、エネルギーは高めです。しかし、コラーゲンやビタミンがたっぷり含まれているので、女性におすすめの食品でもあります。春野菜と一緒にことごと煮込むと、野菜のうまみが染み込んでまろやかな味になりますよ。キャベツ以外に玉ねぎ、にんじん、じゃがいもなどなんでもよく合いますので、さまざまな料理に使ってみてください。

県環境保全活動知事表彰を受けて

このたび、知事表彰という素晴らしい表彰を受けたことは、地域住民の皆さまの半世紀以上にわたる協力と、地域に対する思いで続けてきた活動が認められた成果であると思います。改めて、日頃から活動に参加し、ご尽力いただいている地域の皆さま、そして会の運営をささえてこられた歴代役員の皆さまの長年のお力添えに心からお礼申し上げます。

コミュニティが地域を支え、見守り続けて行く。この積み重ねと持続した活動が、復旧・復興の先のまちづくりにも通じるものであるとの思いを強く感じました。

高齢化・少子化をはじめさまざまな現状ではありますが、自らが思いを持って参加・協力し笑顔があふれる地域づくり、住民協働事業として気持ち新たに組み込んでまいりたいと思います。

これからもどうぞよろしく願いいたします。

豊間根環境衛生連合会
会長 豊間根 信



豊間根環境衛生連合会に知事表彰 長年にわたる活動に栄誉

去る1月28日、岩手県民情報交流センターで行われた「平成28年度岩手県環境保全活動知事表彰」で、豊間根環境衛生連合会（豊間根信会長）が知事表彰を受けました。

昭和36年から50年以上にもわたり行われてきた地域の環境美化活動、道路・河川の草刈、清掃等の環境整備などへ地域全域での積極的な取り組みが評価され、今回の表彰となりました。会長の豊間根さんは「長年にわたる地区住民の活動が評価されうれしい」と喜びを語りました。

INTERVIEW

船戸 義和さん

山田町地域コミュニティ形成アドバイザー



船戸 義和さん

【略歴】自由学園最高学部（東京都）卒業。米国の大学院で非営利団体の運営を学ぶ。震災直後から被災地のコミュニティ形成を支援。岩手大学三陸復興・地域創生推進機構地域コミュニティ再建支援班特任研究員。38歳。盛岡市在住。

町では、船戸義和さんに山田町地域コミュニティ形成アドバイザーを委嘱しました。これは、災害公営住宅への入居や、自立再建の住宅移行後の新たな地域コミュニティ形成支援のために委嘱したものです。今号は船戸さんへのインタビューの内容を紹介いたします。

Q コミュニティ形成の意義は？
A 震災発生直後から続けている支援活動で感じていることは、地域に住む人たちが自身に復興に向けて立ち上がる力があるということだと思います。ただ、バラバラでは力が弱い場合もあり、人のつながり、つまり地域コミュニティが力を合わせるために必要になると考えています。

ツは？
A 例えば、さまざまな人が集まる災害公営住宅では、近くに住んでいても接する機会が少なく、お互いを知らないままになりがちです。まずは掃除当番や集金など、生活のルールをなるべくたくさんの方が関わって作るようにすると、自然にお互いの理解度があがってコミュニティ形成につながります。

Q アドバイザーとしての今後の展望は？
A 他の地域での活動も生かして町のコミュニティ形成に役立てばと思っています。でも、主役は私ではなく町の人たち。良きパートナーとして、一緒に良い町を作っていきたいです。

住民協働推進支援事業

自治会などの活動に 補助金のご活用を

町では自治会などの活動に対し補助金を交付します。
本年度（4月1日～来年3月31日）に行われる事業の申請の受け付けを5月11日まで行いますので、補助金の交付を希望する団体は期日までに申請書を提出してください。※本年度の受け付けは今回限りとなります。

▷対象団体 自治会、コミュニティ、自主防災組織、NPOなど（産業団体など営利法人は対象外です）

▷補助内容 審査委員会により事業内容などが審査され、認められた費用の5分の4以内の額が交付されます。

※補助金は団体ごとに交付されますが、年間で1団体に交付できる金額の総額には上限があります。上限は対象世帯数により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

◆申請先・問い合わせ 町復興企画課コミュニティ推進係（☎82-3111内線362）へどうぞ。

◆対象となる事業内容の例

項 目	対象事業および事業内容の例
地 域 づ くり	地域づくり計画の策定・周知、地域ワークショップの開催、地域性を生かしたイベントの開催など
地 域 福 祉	各種健康づくり運動、世代間交流活動、地元食材を使用した料理教室など
環 境 衛 生	ごみ減量化と適正分別への取り組み、ごみステーションの適正管理、廃棄物の不法投棄監視活動、買い物袋持参運動など
生 涯 学 習 ・ 生 涯 ス ポ ーツ	お祭り・盆踊り大会の開催、地域リーダー研修会への派遣など
防 災 ・ 安 全	地域で独自に行う避難訓練、防災資器材の整備、道路の草刈りや除雪、登下校時間帯の地域内の見回りなど
産 業 振 興	地場産品の消費拡大や生産意欲の向上に関する取り組みなど



町では、町職員による「まちづくり出前講座」を実施しています。同講座は、町で行うさまざまな制度や政策について町民の皆さんに情報を提供し、広く町政に関する理解を深めて、住民協働を推進することを目的としたものです。町内の団体やグループなどであればどなたでも開催することができ、講座の内容は受講する皆さんのご要望に応じて、各担当課の職員が説明に伺います。

なお、この講座は皆さんの相談や要望などをお聞きするものではありませんのでご理解をお願いします。

『まちづくり出前講座』町内どこでも伺います

町の制度や政策を学ぶ機会に

同講座の開催を希望する方は、開催を希望する日の2週間前までにお申し込みください。

▽開催時間

・平日：午前10時～午後9時
・土・日曜日、祝日：午前10時～午後4時

※開催時間は講座1回につき原則2時間以内とさせていただきます。

▽開催場所 町内の公共施設や事業所の会議室、学校など

（個人のお宅では行いません）

※会場の確保や開催告知など、講座を行うための準備は主催者側で行ってください。

▽申込方法

町復興企画課、町民課、役場各支所に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し提出してください。

◆申込先・問い合わせ

町復興企画課コミュニティ推進係（☎82-3111内線362）へ。

◆担当課と講座のテーマ例

担 当 課	テ ー マ の 例
総 務 課	町の行政組織、防災、行政改革、情報公開、個人情報保護、統計など
財 政 課	町の財政など
復興企画課	復興計画、生活再建、住民協働など
税 務 課	税の役割、町税のしくみなど
農 林 課	農林業の現状、国土調査など
水産商工課	漁業・商工業の現状、観光など
町 民 課	環境問題、ごみの分別とリサイクル、地域安全（防犯、暴力追放）、年金など
長寿福祉課	高齢者・障がい者福祉など
健康こども課	健康・子育てなど
建設課	土地地区画整理事業、道路整備事業など
建築住宅課	公営住宅など
上下水道課	水道施設の概要、下水道事業など
消防防災課	救急講習会、消火器の取り扱いなど
議会事務局	町議会の役割と活動内容
選挙管理委員会事務局	選挙の仕組み、選挙制度など
監査委員事務局	監査委員の役割と活動内容
農業委員会事務局	農業委員会の役割と活動内容
学校教育課	学校教育、日蘭交流など
生涯学習課	町の史跡や歴史、各種スポーツ講座、同世代交流講座、世代間交流講座など

佐々木教育長が退任



佐々木 毅 教育長

佐々木教育長が4年間の任期を終え、4月1日付で退任することになりました。

退任のあいさつ

山田中学校での教員時代を含め、16年間という長い間山田町にお世話になりました。私にとって非常に思い出深い地となっています。また、生徒と

ともに震災を乗り越えられたのは、地域の皆さんの支えのおかげです。

4年間本当にありがとうございました。

- ◆**轟木小学校** ▷校務員（豊間根中学校同）岩浅喜美子
- ◆**豊間根中学校** ▷校務員（山田北小学校同）平塚幸子
- ◆**消防防災課** ▷課長・小林達広▷課長補佐・佐藤正彦▷防災第一係長・笹原正▷主査・藤田賢嗣▷主査・大町剛▷主査・横田諭史▷主任・箱石浩一▷主事・佐々木秀樹▷主事・山口亮我
- ◆**新採用** ▷復興企画課主事補・吉田拓夢▷水産商工課主事補・平澤聖也▷水産商工課主事補・千葉卓也▷町民課主事補・家子唯▷町民課主事補・小林万沙子▷長寿福祉課主事補・稲川美里▷長寿福祉課主事補・佐々木春奈▷建設課主事補・鈴木宇香▷議会事務局主事補・佐々木柚紀▷水産商工課技術副主幹・高山賢次（平成29年4月2日付）
- ◆**再任用** ▷税務課主査・昆秀樹▷町民課主査・岡市善敏▷健康子ども課主査・川端京子▷上下水道課技術主査・佐々木達彦▷生涯学習課主査・澤木次博▷生涯学習課主査・花坂惣二
- ◆**任期付** ▷総務課危機管理室長補佐兼危機管理係長（同室長補佐）河村壽恵男▷財政課主事（企画財政課同）佐々木茂樹▷長寿福祉課主事（国保介護課同）箱石章子▷船越保育園保育士（大浦保育園同）福士里彩▷船越保育園保育士（新採用）佐々木明日香
- ◆**退職**〈3月31日付〉▷総務課長・花坂惣二▷企画財政課長・上林浄▷復興推進課長・沼崎弘明▷会計管理者・税務課長・昆秀樹▷上下水道課長・佐々木達彦▷税務課課長補佐・松崎由美子▷大浦保育園園長・佐々木真由美▷大沢小学校校務員・阿部綾子▷議会事務局長・白土まさ子▷議会事務局主事・鈴木廉子▷国保介護課主事・関本朋子▷健康福祉課保健師・伊藤和也▷農林課主事・岩田功一▷健康福祉課主事・武田郁恵▷上下水道課主事・三浦正

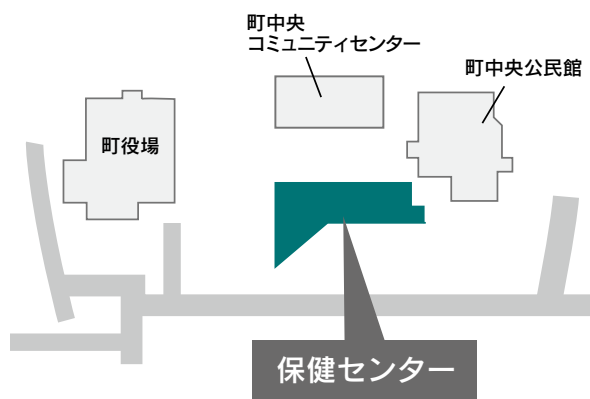
新設した健康子ども課 窓口は保健センター内



健康子ども課が設置される保健センター



入口はこちらです



町の機構改革により新設された健康子ども課。各種検診や子育て支援などを行います。

窓口は役場庁舎横の保健センター内に設置されますので、ご用の際は保健センターへお越しください。保健センターの位置は上図のとおりです。

◆問い合わせ

- ・児童福祉などに関すること……(☎内線602、603)
- ・子育て支援などに関すること…(☎内線604、605)
- ・各種健診等に関すること……(☎内線612)
- ・予防接種、健診に関すること…(☎内線614、615、616)

4月1日付町職員人事異動

(カッコ内は前職)

4月1日付で、町職員の人事異動が行われました。
各課の異動職員は、次のとおりです。

- ◆**総務課**▷課長・選挙管理委員会事務局長(水産商工課長)佐々木真悟▷課長補佐・行政チームリーダー(同課課長補佐)佐藤篤人▷課長補佐・情報チームリーダー兼情報係長(同課情報係長)佐々木克博▷行政係長(同課主任)芳賀久美子▷選挙管理委員会事務局次長(学校教育課主任)阿部寛子▷主事(企画財政課同)甲斐谷和樹
- ◆**財政課**▷課長(農林課長)古館隆▷課長補佐・財政チームリーダー兼財政係長(企画財政課同)道又聡▷課長補佐・管財チームリーダー兼入札管理係長(企画財政課同)柏谷訓正▷管財係長(生涯学習課国体推進係長)芳賀善一▷主事(町民課同)佐藤希美▷主事(上下水道課同)鈴木翔汰▷主事(企画財政課同)赤澤美歩▷主事(企画財政課主事補)湊勝也
- ◆**復興企画課**▷課長・被災者再建支援室長(国保介護課長)甲斐谷芳一▷課長補佐・政策推進チームリーダー兼コミュニティ推進係長(復興推進課同)佐々木義之▷課長補佐・復興推進チームリーダー兼事業調整係長(建設課同)山崎智▷政策推進係長(企画財政課同)木戸脇大輔▷まちづくり再生係長(企画財政課主事)沢田真央▷被災者支援係長(企画財政課管財係長)佐藤誠也▷主事(復興推進課同)堀合正裕▷主事(復興推進課同)高橋愛▷主事(企画財政課同)鈴木裕太▷主事(町民課主事補)佐藤進哉
- ◆**税務課**▷会計管理者・課長兼収納対策室長(町民課長)中屋佳信▷課長補佐・課税チームリーダー兼町民税係長兼収納対策室長補佐(同課町民税係長)橋端敏明▷課長補佐・会計チームリーダー兼会計係長(建築住宅課同)阿部説子
- ◆**農林課**▷課長・農業委員会事務局長(同課課長補佐)川口徹也▷課長補佐・農林チームリーダー兼林業振興係長(上下水道課下水道庶務係長)佐々木満▷主事(建設課同)瀬川富博
- ◆**水産商工課**▷課長(税務課課長補佐)武藤嘉宜▷水産振興係長(同課主事)蛇石準哉
- ◆**町民課**▷課長(同課課長補佐)昆健祐▷課長補佐兼住民記録係長(同課課長補佐)船越海平▷課長補佐・国保チームリーダー兼国民健康保険係長兼医療給付係長(国保介護課同)佐々木克博▷課長補佐・生活安全チームリーダー兼地域安全係長(選挙管理委員会事務局次長)後藤茂典▷環境衛生係長(同課主任)箱石智生▷主任(国保介護課同)小成涉▷主事(国保介護課同)芳賀正和▷主事(国保介護課同)佐々木智見▷主事(国保介護課主事補)川村敬生▷主事補(建設課同)岡澤広樹
- ◆**長寿福祉課**▷課長兼地域包括支援センターチームリーダー(健康福祉課長)菊池ひろみ▷課長補佐・福祉チームリーダー兼高齢者福祉係長(健康福祉課同)大川修一▷課長補佐・介護チームリーダー兼介護保険係長

(国保介護課同)川村聡▷地域福祉係長(税務課主任)高橋理奈▷地域包括支援係長(国保介護課同)佐々木文恵▷主任(国保介護課同)黒沢雅子▷主任保健師(健康福祉課同)佐々木裕子▷主事(税務課同)笹原祐起▷保健師(国保介護課同)田老佐江子▷保健師(国保介護課同)佐々木一史▷主事(国保介護課同)伊藤久美子▷社会福祉士(国保介護課同)間瀬由希▷主事(国保介護課同)中村琴美▷主事(国保介護課主事補)福士葉粒生▷主事補(健康福祉課同)田中理子

- ◆**健康子ども課**▷課長・子育て世代包括支援センター室長兼関口児童館長(総務課課長補佐)野口伸▷課長補佐・健康管理チームリーダー兼健康管理係長兼地域医療推進室長(健康福祉課同)西村淳子▷課長補佐・健康づくりチームリーダー兼健康づくり係長(健康福祉課健康づくり係長)濱登新子▷課長補佐・子ども子育てチームリーダー兼子育て世代包括支援センター室長補佐(健康福祉課地域福祉係長)佐々木宣男▷子ども子育て係長(健康福祉課児童福祉係長)佐藤三智子▷主任栄養士(健康福祉課同)小原美智子▷主任保健師(健康福祉課保健師)刈屋深雪▷主事(健康福祉課同)鈴木卓郎▷保健師(健康福祉課同)尾無徹▷保健師(健康福祉課同)東知英▷栄養士(健康福祉課同)及川祥恵▷主事(健康福祉課同)笹原清香▷主事補(健康福祉課同)芳賀祐志

- ◆**建設課**▷課長補佐・都市整備第1チームリーダー(同課工務係長)佐藤哲也▷課長補佐・用地チームリーダー兼管理係長兼用地係長(同課用地係長)佐々木和哉▷工務係長(同課主任技師)坂本大弥▷土管理係長(同課主任技師)瀬川智一

- ◆**建築住宅課**▷課長(企画財政課課長補佐)芳賀道行▷主幹(同課長)佐々木政勝▷課長補佐・建築住宅チームリーダー兼建築住宅係長(生涯学習課同)加藤紀彦▷課長補佐兼宅地整備係長(岩手県議会事務局議事調査課)大山博幸

- ◆**上下水道課**▷課長(同課課長補佐)後藤清悦▷課長補佐・上水道チームリーダー兼上水道庶務係長(総務課行政係長)白野大樹▷下水道庶務係長(健康福祉課主事)佐々木剛▷主事(町民課同)佐々木玲美

- ◆**議会事務局**▷事務局長(監査委員室長)福士雅子
- ◆**監査委員室**▷監査委員室長(町民課住民記録係長)志和一実

- ◆**学校教育課**▷主事(健康福祉課同)阿部栄美▷栄養士(大浦保育園同)佐藤瑠美

- ◆**生涯学習課**▷課長補佐・生涯学習チームリーダー兼社会教育係長(水産商工課水産振興係長)五十嵐亮▷社会体育係長(農林課主事)関周平

- ◆**船越保育園**▷保育士(大浦保育園同)永尾花奈

復興さくらの丘植樹感謝祭

植樹と散策を

楽しむ集い

日時 4月15日(土)
午前9時〜午後2時半

場所 船越家族旅行村
オートキャンプ場

抽選会も
あります!

本町では、震災犠牲者を追悼するとともに、復興への歩みを進めるため、平成25年から家族旅行村オートキャンプ場周辺へのさくら植樹を進めてきました。今回の植樹を完了すると、さくらの本数は目標の824本に達し、「復興さくらの丘」が完成することになります。

ことしのイベントは、

午前の植樹でその完成を祝い、午後からはスタンブラリーで「復興さくらの丘」の散策を楽しむ『植樹と散策を楽しむ集い』です。スタンブラリー参加者は、賞品が当たる抽選会へも参加できますので、皆さん奮ってご参加ください。

◆問い合わせ 町水産商工課観光振興係

(☎82-3111 内線228)へ。



ことしで植樹を完了する復興さくらの丘

農業労賃等標準額を改定します

平成29年度の町農業労賃等標準額が表のとおり決まりました。適用期間は4月1日から来年3月31日までです。次の留意事項も併せてご確認ください。

▽留意事項

- ・人力の部の実働時間が1日8時間を越えた場合は、1時間単位で超過額を加える。
- ・機械の部の標準額には、すべてオペレータ賃金と燃料代が含まれる。
- ・湿田の耕起、刈り取り脱穀(コンバイン)は、10㌦あたり1100円増しとする。
- ・刈り取り結束の結束用縄代は、委託者負担とする。
- ・もみの運搬費用は、10㌦当たり1100円とする。
- ・牧草ラッピングは、ラップフィルム代を含む。
- ・5㌦未満の代かきは、1割増しとする。
- ・牧草こん包(ロールペーラ)の基準は1㌦×1㌦とする。
- ・標準額には消費税および地方消費税は含まれない。
- ・農地の地理的条件や作業条件による増減額は、受託者と委託者の協議のうえで決めるものとする。
- ・そのほか詳細については、両者の話し合いで決める。

農地の権利取得には 10㌦以上の面積が必要です

町では、農地の権利を取得する際に必要な面積の下限を、10㌦以上(権利を取得する者またはその世帯員がすでに耕作している農地と、新たに権利を取得する農地の面積を合計して計算)と定めています。そのほか、農地を取得する際の要件については、お問い合わせください。

◆問い合わせ 町農業委員会事務局(☎82-3111内線217)へどうぞ。

◆人力の部

種別	金額	標準額 (1日8時間)	超過額 (1時間当たり)
水田作業		5800円	910円
畑作業		5800円	910円

※作業1時間当たり725円です。

◆機械の部

種別	使用機械・区分	単位	標準額
水田作業	耕起	耕運機およびトラクター	10㌦ 6100円
	代かき	〃	〃 6900円
	くろぬり	くろぬり機	1㌦ 60円
	田植え	田植機	10㌦ 6600円
	刈り取り結束	バインダー	〃 7400円
	刈り取り脱穀	5㌦未満	1㌦ 1710円
		10㌦未満	〃 1610円
		10㌦以上	〃 1510円
	乾燥	乾燥機	10㌦ 7600円
	脱穀	全自動脱穀機	1時間 4100円
畑作業	転作田草刈り	特に設定なし	10㌦ 5100円
	全般	耕運機およびトラクター	〃 5900円
	大豆刈り取り	汎用コンバイン	〃 12100円
	種まき	コーンランター	〃 3100円
	刈り取り	コーンハーベスター	〃 9100円
	牧草こん包	ロールペーラ	1個 1600円
共通	牧草ラッピング	ラッピングマシン	〃 1600円
	たい肥散布	マニユアスプレッダー	10㌦ 3200円
	たい肥散布	噴霧器	10㌦ 1100円
共通	薬剤散布	ブームスプレーヤー	10㌦ 1500円
	(薬剤別途)		



元氣いっぱいの笑顔

東北百名山の一つ 春の鯨山に登ろう

鯨山登山をして、美しい三陸の海や山を楽しみませんか。参加を希望する人は、電話でお申し込みください。

▷日時 4月22日(土)

午前8時半～午後3時
※雨天順延、中止もあります。

▷場所 県立陸中海岸青少年の家(集合・解散)

▷内容 鯨山登山や浪板不動滝見学など

▷対象 小学生以上

▷定員 30人程度

▷参加費 500円(保険代など)

▷持ち物 ▶登山に適した服装

▶帽子▶カッパ▶着替えやタオル▶リュックサック▶軍手

▶昼食と飲み物▶健康保険証

▷申込期間 4月4日～15日

※午前9時～午後5時の時間帯に受け付けています。

◆申込先・問い合わせ 県立陸中海岸青少年の家(☎84-3311)へどうぞ。

浄土ヶ浜へどうぞ 自然観察会を開催

浄土ヶ浜で自然観察会を行います。

春の定番の花や、いつもは見過ごしてしまう小さな花も観察してみませんか。

参加を希望する人は、電話でお申し込みください。

▷日時 4月15日(土)

午前10時～正午

※荒天時は翌日に開催します。

▷場所 浄土ヶ浜ビジターセンター(宮古市日立浜町)

▷定員 20人

※小学生以下は保護者の同伴が必要です。

▷参加料 100円(保険料・おやつ代込み)

▷持ち物 ▶歩きやすく汚れてもいい服装▶飲み物▶マイカップ

※温かい飲み物とおやつを準備しています。

▷申込期限 4月14日午後5時

◆申込先・問い合わせ 浄土ヶ浜ビジターセンター(☎65-1690)へどうぞ。

震災身元不明者に 関する相談会開催

震災後に遺体が発見されながら、未だ身元が判明されていない方の似顔絵や顔写真、震災当時の着用衣類の写真を公開するほか、震災で行方不明者となっている方に関する相談などを受け付けます。

▷日時 4月30日(日)

午前10時～午後3時

▷場所 町中央コミュニティセンター2階研修室

◆問い合わせ 岩手県警察本部刑事部捜査第一課(☎019-653-0110内線4144)へ。

お越しくささい 行政相談所開設

▷日時 4月18日(火)

午後1時半～3時半

▷場所 町中央コミュニティセンター第2研修室・集会室

▷相談内容 行政の仕事で納得できないことなど

◆問い合わせ 町町民課地域安全係(内線126)へどうぞ。

法律相談会を開催 お気軽にご利用を

◎宮古地区法律相談【4月】

▷相談日 6日(木)、13日(木)、15日(土)、20日(木)、27日(木)

▷時間 午前10時～午後3時

※土曜日は午前10時～午後4時

▷場所 宮古市役所本庁舎1階(宮古市新川町)

▷相談内容 相続や金銭トラブルなど、法律に関すること

▷申込先 宮古市市民相談室(☎62-2111)

◆問い合わせ 岩手弁護士会(☎019-623-5005)へ。

歯に関する相談 電話で無料受付

◎ヨイ歯デーテレホン相談

▷日時 4月18日(火)

午前10時～午後7時

▷相談内容 歯や口に関する悩みにについて

◆相談先・問い合わせ 岩手県保険医協会ヨイ歯デーテレホン相談係(☎019-651-7341)へどうぞ。

津波浸水区域の固定資産税を減免

■固定資産税の震災特例措置

町では、津波浸水区域の固定資産税の減免を行います。課税される資産を所有している方には、4月中旬に納税通知書を送付しますので、期限までに納付をお願いします。

ために、ほかの固定資産の価格や面積などを確認できる制度です。ただし、所有者や課税内容は非公開です。

▽縦覧期間 4月1日～5月1日

なお、所有する資産がすべて震災減免となった人には、納税通知書は送付しませんので、ご了承ください。

※土・日曜日、祝日は除く

▽縦覧時間 午前8時半～午後5時15分

▽納期限 ▼第1期：5月1日

▼第2期：7月31日 ▼第3期：11月30日 ▼第4期：来年1月31日

▽縦覧場所 町役場1階税務課窓口

▽縦覧できる方 納税義務者、納税管理人、代理人など

■土地・家屋等縦覧帳簿の縦覧

平成29年度の「土地・家屋等縦覧帳簿」の縦覧を行います。この縦覧制度は、納税者が所有する固定資産(土地・家屋)の価格が適正かどうかを判断する

※代理人が縦覧する場合は、委任状が必要です。

◆問い合わせ 町税務課資産税係(☎82-3111内線113・114・118)へ。

◆平成29年度の減免対象区域

地区	住所地番内の全部または一部区域が減免
境田町	1番～21番、23番、24番
川向町	1番～21番
中央町	1番～16番
八幡町	1番、2番、4番～12番
後楽町	1番、2番、4番、7番
北浜町	1番～14番
飯岡	第1地割、第2地割
長崎	一丁目～四丁目
山田	第1地割～第5地割、第9地割～第14地割
船越	第3地割～第16地割、第18地割～第23地割
織笠	第1地割～第3地割、第6地割～第9地割、第11地割～第14地割
大沢	第1地割～第3地割、第5地割～第13地割



おめでた・おくやみ

2月届け出分（敬称略）

【出生】（ ）は保護者と性別

▷山田 甲斐谷亜香（孝二・女）

▷織笠 長崎朱翔（広明・男）

【結婚した二人】（ ）は住所

沼崎信宏（飯岡）・平山瞳（豊間根）

福土俊輝（大沢）・千代川久美子（飯岡）

三田地駿（境田町）・佐々木千紘（北上市）

【死亡】（ ）は年齢

▷山田 佐々木キヌ（90）、芳賀政（92）、

佐藤よし子（79）、佐藤史郎（63）、

佐々美喜夫（28）、郡司俊彦（80）、

湊英司（42）

▷船越 太田キエ子（74）

▷田の浜 村上セツ（85）

▷大浦 上野ルエ（80）、向平守（75）

▷織笠 昆百合子（83）、湊トメ（91）、

千葉秀雄（95）、田村孝志（86）

▷大沢 福士幾（76）

▷豊間根 佐々木スエ（79）、伊藤イマ（89）、

柏山サホ（90）、宮フミ（86）、

豊間根孝子（62）

▷石峠 森谷誠（70）

▷荒川 佐藤功一（86）

町民のうごき

（2月1日～28日）

▷出生……3人 ▷転入……21人

▷死亡……27人 ▷転出……24人

▷人口…16136人（今月減27人）

男…7882人 女…8254人

▷世帯数……6668世帯

◆毎号掲載している「まちかどスナップ」。ファインダー越しに皆さんの笑顔を見るときが、「広報担当で良かった」と思える瞬間の一つです。これからもよろしく願います。

◆大浦保育園の卒園式と閉園式を取材。卒園する園児たちの自信に満ちた表情と態度は、本当に立派で、私も涙が……。とても素晴らしい式でした。卒園おめでとういいます。

松



「広報やまだ」は環境に優しい再生紙と大豆油インキ（植物油）を使用しています。



※敬称略、（ ）内は地区名・保護者・性別です。



上野 悠人
（長崎・堅太郎・男）



伊東 小晴
（飯岡・幹也・女）



上林 一護
（山田・幸正・男）



小国 結大
（船越・文哉・男）



山崎 心優
（船越・学・女）



齊藤 彩は
（船越・弘道・女）



小笠原 莉桜
（船越・健士・女）



大須賀 茉叶
（船越・俊徳・女）



館下 杏
（織笠・郁浩・女）



花崎 いろは
（織笠・和博・女）



今村 謙心
（大沢・亮・男）



道又 悠真
（大沢・直也・男）



阿部 璃音
（大沢・真吾・女）



山崎 寧
（石峠・翔吾・女）



高屋敷 楓李
（荒川・拓馬・男）